

# Pick Up!

# 目次

広報なかの  
No.165

2018 Dec.

12



## 冬本番！除雪作業にご理解とご協力を

問 市道 → 道路河川課 ☎(22) 2111(内線266)  
国・県道 → 北信建設事務所中野事務所 ☎(22) 3138



道路除雪でこぼれた雪が玄関や車庫前などで支障になる場合は、各戸で片付けをお願いします。

- ・除雪車には近寄らない
- ・道路に雪を出さない
- ・道路にものを置かない
- ・屋根の雪下ろしをした雪は片付ける
- ・排雪場を利用

など、ご協力をお願いします。

道路河川課  
村上主事



※除雪に関するご意見・ご要望は、各区長を通してご連絡ください



ページ

03 キラリ★中野のチカラ

04 特集  
ほいくのげんば

08 中野市この一年

09 信州なかの日和 / 池田市長のわくわくレポート

10 健康広場「なかの」

12 生き生き！健康メモ / 保健だより

13 市民リレー元気の輪 / 行ってみよう！やってみよう！シニア情報

14 子育て案内

15 子育て支援センター行事予定 / わが家のアイドル

16 まちかどトピックス

18 暮らしの情報掲示板

23 財政状況 (2018年度上半期)

24 心をひらく (人権啓発広報)

26 交差点 (男女共同参画啓発広報)

28 文化なかの (公民館報)

30 図書館情報

31 博物館だより / 小学校統合準備委員会だより

32 夢 / 広報クイズ

### 人口の動き

面積：112.18km<sup>2</sup>  
人口：42,784人 (-13)  
男：20,683人 (-11)  
女：22,101人 (-2)  
世帯数：15,630戸 (+16)  
【2018年11月1日現在】  
( )は前月比。  
2015年国勢調査を基に推計。



#follow me

### 今月の表紙



ひまわり保育園の園庭で落ち葉をまいて遊ぶ園児。子どもは何でも遊び道具にしてしまいます。子供たちの発想力に保育士たちも日々驚かされているといいます。今回の特集では、そんな保育の現場に迫ります。保育士たちにはこの写真のような景色がどのように映っているのでしょうか。



地域のため、自分のため。  
感謝の気持ちを忘れずに、  
走り続けていきたい。

**-Profile-** やなぎさわ みずき

上田市出身。1979年生まれ。島根大学で林業を学び、2015年から長野県下高井農林高等学校で教鞭をとる傍ら、ランナーとしても活躍。11月17日、18日に開催された「2018長野県縦断駅伝競走」では、中野下高井チームのベテランとしてチームをけん引。強豪ひしめく4区(15.6km)と21区(17.0km)の2区間を走り、いずれも若手に引けを取らない7位の好成績を残した、チームの「絶対的エース」。



▲下高井農林高で。「農業教員として学校の魅力、農業の魅力伝えたい」と話す



▲目標は6位入賞。「ハードルは高いが、チームを支える皆さんと一緒に、喜びを分かち合いたい」と熱く語る柳澤さん

長野県下高井農林高等学校 教員  
長野県縦断駅伝競走 中野下高井チーム 選手

**柳澤 瑞樹** (西2丁目)

「小 さな種から、花になるまで。育てる途中でいい加減なことをやったら、良い農産物にはならない。生徒には、販売の時に自身を誇りをもって売れるように育てていくことを、指導しています」

情熱をもって話してくれたのは、下高井農林高校教員の柳澤瑞樹さん。主に草花について指導をし、3学年の学年主任も務める。忙しい日々を送る一方、第一線で活躍するランナーという、アスリートとしての顔も持つ。

練習は主に朝5時半から。ジョギングやスピードのメニューを行う。夏場は週1回程度、中野市の自宅から高校まで約16キロ「通勤ラン」をする。陸上を始めた高校時代、出場した県縦断駅伝では、中学生から社会人までが世代を超えてたすきをつないだ。そんな一体感に感動を覚え、今まで走り続けてきた。

「好きな事をやらせてもらっていますから。妻や子、職場の方、生徒、またいろいろな面で支えてくださる皆さんに、日々感謝しながら走っています。今後も体が動くうちは走り続けたい」

その意欲の源を尋ねた。

「県縦断駅伝です。走るときの『柳澤頑張り』ではなく『中野下高井頑張り』の声。チームのユニフォームを着て走ることで、地域の誇りを背負って取り組める。自分が走ることで、地域に元気や勇気が湧くかも知れない」

「そのために頑張り続けるというのは、あるのかな。恥ずかしながらね。謙虚なエースは、そう答えてくれた。」